

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社アサヒペン
 コード番号 4623 URL <https://www.asahipen.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田耕吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石尾維英
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6930-5018

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 13,297 | 17.1 | 756 | 22.8 | 928 | 10.2 | 619 | 40.9 |
| 2022年3月期第3四半期 | 11,350 | | 980 | | 1,034 | | 1,048 | |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 638百万円 (31.9%) 2022年3月期第3四半期 937百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 165.23 | |
| 2022年3月期第3四半期 | 270.48 | |

(注) 1. 「収益認識基準に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値になっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 第1四半期連結会計期間の期首より表示方法の変更を行ったため、2022年3月期第3四半期については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しており、対前年同四半期増減率は組替え後の数値を用いて計算しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|---------------|--------|---|--------|---|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 21,613 | | 13,504 | | 62.5 |
| 2022年3月期 | 19,726 | | 13,251 | | 67.2 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,504百万円 2022年3月期 13,251百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 25.00 | | 30.00 | 55.00 |
| 2023年3月期 | | 25.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 30.00 | 55.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 17,500 | 23.1 | 700 | 22.5 | 950 | 2.7 | 550 | 45.2 | 146.65 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間の期首より表示方法の変更を行ったため、増減率については当該表示方法の変更を反映した組替え後の前年同期数値を用いて計算しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)株式会社ザ・ペット

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年3月期3Q | 4,623,000 株 | 2022年3月期 | 4,623,000 株 |
| 期末自己株式数 | 949,088 株 | 2022年3月期 | 859,806 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 3,750,377 株 | 2022年3月期3Q | 3,877,559 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和や観光支援策等の各種政策の効果もあり、経済・社会活動が正常化に向かう中で、雇用情勢や設備投資は回復の傾向にあり、また、個人消費についても緩やかな回復がみられました。一方では、ウクライナ情勢の長期化、世界的な原材料価格やエネルギー価格の高騰及び急激な円安の進行等の影響、これらに伴う消費者物価の上昇など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、2022年4月27日付でペット用品を取り扱う株式会社ザ・ペットを子会社化したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は132億9千7百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

利益面につきましては、原材料価格等高騰の影響及び株式会社ザ・ペットの株式取得関連費用の計上等により、営業利益は7億5千6百万円（前年同期比22.8%減）となり、営業外収益において、東日本物流センター開設に伴う補助金収入及び株式会社ザ・ペットにおける生命保険解約返戻金収入の計上による増益要因があったものの、経常利益は9億2千8百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期において、繰延税金資産の回収可能性について当社の分類の見直しを行ったことにより税金費用が2億2千4百万円減少したこと、当期においては、株式会社ザ・ペットの株式取得費用に係る税効果が認識されないこと等による法人税等の負担率が増加したこと等により、6億1千9百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、経営成績については当該表示方法の変更を反映した組替え後の前第3四半期連結累計期間の四半期財務諸表の数値を用いて比較して説明しております。表示方法の変更の詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）（表示方法の変更）」に記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、従来の当社グループの報告セグメントは、「塗料事業」、「DIY用品事業」、「その他」の3つとしておりましたが、株式会社ザ・ペットの子会社化に伴い、当第1四半期連結会計期間より、「塗料事業」、「DIY用品事業」、「ペット用品事業」、「その他」の4つの報告セグメントに変更しております。

<塗料事業>

当事業では、夏季の天候不順等の影響により、売上高は60億8千8百万円（前年同期比6.0%減）、利益面では、急速な円安の進行や国際的な情勢不安の影響による原材料価格の高騰等の影響を受けて、セグメント利益は4億2千1百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

<DIY用品事業>

当事業においては、売上高は45億4千2百万円（前年同期比4.3%減）となり、販促宣伝関連の費用の減少等により、セグメント利益は2億7千5百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

<ペット用品事業>

当事業においては、売上高は25億1千1百万円となり、株式会社ザ・ペットの株式取得関連費用等の計上により、セグメント損失は3千1百万円となりました。

<その他>

その他の事業は、売上高は1億7千1百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は9千1百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は216億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億8千7百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少4億5千9百万円、受取手形の増加2億3千2百万円、売掛金の増加6億6千7百万円、電子記録債権の増加2億円、有価証券の減少1億7千8百万円、流動資産その他の増加2億3千万円、有形固定資産の増加2億4百万円、のれんの増加9億1千5百万円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は81億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億3千3百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1億9千5百万円、電子記録債務の増加1億7千9百万円、短期借入金の増加3億8千万円、引当金の減少1億4千3百万円、長期借入金の増加11億1千4百万円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は135億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加4億1千2百万円、自己株式の増加1億7千6百万円によるものです。この結果、自己資本比率は62.5%（前連結会計年度末は67.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年6月29日の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,386,757 | 3,927,709 |
| 受取手形 | 411,025 | 643,325 |
| 売掛金 | 2,138,654 | 2,806,608 |
| 電子記録債権 | 585,777 | 786,648 |
| 有価証券 | 199,971 | 21,639 |
| 商品及び製品 | 2,515,314 | 2,459,010 |
| 仕掛品 | 19,676 | 24,726 |
| 原材料及び貯蔵品 | 229,042 | 280,316 |
| その他 | 149,785 | 380,547 |
| 貸倒引当金 | △11,373 | △32,807 |
| 流動資産合計 | 10,624,631 | 11,297,724 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,306,681 | 2,320,069 |
| 土地 | 3,378,253 | 3,503,567 |
| その他(純額) | 458,530 | 524,406 |
| 有形固定資産合計 | 6,143,465 | 6,348,042 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 915,515 |
| その他 | 240,027 | 232,258 |
| 無形固定資産合計 | 240,027 | 1,147,773 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,303,493 | 2,330,921 |
| その他 | 434,231 | 509,268 |
| 貸倒引当金 | △19,695 | △19,914 |
| 投資その他の資産合計 | 2,718,029 | 2,820,276 |
| 固定資産合計 | 9,101,523 | 10,316,092 |
| 資産合計 | 19,726,155 | 21,613,816 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,171,924 | 1,367,557 |
| 電子記録債務 | 316,689 | 496,266 |
| 短期借入金 | 580,000 | 960,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 500,000 | 1,000,000 |
| 未払法人税等 | 295,828 | 241,368 |
| 引当金 | 221,618 | 77,915 |
| その他 | 615,940 | 584,210 |
| 流動負債合計 | 3,702,000 | 4,727,317 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,500,000 | 1,000,000 |
| 長期借入金 | 200,000 | 1,314,286 |
| 役員退職慰労引当金 | 7,665 | 833 |
| 退職給付に係る負債 | 845,149 | 884,515 |
| その他 | 220,224 | 181,931 |
| 固定負債合計 | 2,773,040 | 3,381,566 |
| 負債合計 | 6,475,041 | 8,108,884 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,869,017 | 5,869,017 |
| 資本剰余金 | 4,171,826 | 4,171,329 |
| 利益剰余金 | 3,815,007 | 4,227,312 |
| 自己株式 | △1,543,062 | △1,719,660 |
| 株主資本合計 | 12,312,788 | 12,547,999 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 943,050 | 959,351 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △4,724 | △2,418 |
| その他の包括利益累計額合計 | 938,325 | 956,933 |
| 純資産合計 | 13,251,114 | 13,504,932 |
| 負債純資産合計 | 19,726,155 | 21,613,816 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 11,350,949 | 13,297,424 |
| 売上原価 | 7,166,584 | 9,097,491 |
| 売上総利益 | 4,184,365 | 4,199,933 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,203,922 | 3,443,107 |
| 営業利益 | 980,443 | 756,826 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 885 | 1,130 |
| 仕入割引 | 27,536 | 21,946 |
| 受取配当金 | 48,654 | 52,661 |
| 保険解約返戻金 | — | 52,085 |
| 補助金収入 | — | 41,558 |
| その他 | 8,719 | 50,305 |
| 営業外収益合計 | 85,796 | 219,686 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,173 | 15,662 |
| 株主優待費用 | 9,475 | 7,965 |
| その他 | 15,895 | 24,050 |
| 営業外費用合計 | 31,543 | 47,678 |
| 経常利益 | 1,034,696 | 928,834 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 113,133 | 91,089 |
| 投資有価証券売却益 | 17,821 | 29 |
| 特別利益合計 | 130,954 | 91,119 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 2,199 |
| 減損損失 | 1,879 | 3,500 |
| 特別損失合計 | 1,879 | 5,700 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,163,770 | 1,014,253 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 340,862 | 393,714 |
| 法人税等調整額 | △225,911 | 874 |
| 法人税等合計 | 114,950 | 394,589 |
| 四半期純利益 | 1,048,820 | 619,664 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,048,820 | 619,664 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,048,820 | 619,664 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △116,928 | 16,301 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,227 | 2,306 |
| その他の包括利益合計 | △111,701 | 18,607 |
| 四半期包括利益 | 937,119 | 638,272 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 937,119 | 638,272 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年7月19日、会社法第370条の規定による取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式15,680株の処分を行っております。また、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく、2022年10月7日の取締役会の決議に基づき、自己株式104,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が497千円増加し、自己株式が176,597千円増加したこと等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,719,660千円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、株式会社ザ・ペットの株式を全数取得したため、連結の範囲に含めておりません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（税金費用の計算方法の変更）

当社及び連結子会社は、従来、税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、四半期決算に迅速かつ効率的に対応するため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、当社グループの実態を適切に反映させるため、従来、「営業外収益」に表示しておりました「受取地代家賃」及び「太陽光売電収入」による収益を「売上高」に集約して表示し、「営業外費用」に表示しておりました「賃貸資産維持管理費」、「減価償却費」及び「売電維持管理費」は、「売上原価」に集約して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、「営業外収益」の「受取地代家賃」に表示しておりました52,475千円及び「営業外収益」の「その他」に含めておりました「太陽光売電収入」15,961千円は、「売上高」として組替えており、「営業外費用」の「その他」に表示しておりました「賃貸資産維持管理費」7,939千円、「減価償却費」7,995千円及び「売電維持管理費」788千円は、「売上原価」として組替えております。

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | 塗料事業 | D I Y用品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,447,868 | 4,745,607 | 11,193,475 | 26,925 | 11,220,401 |
| その他の収益 | — | — | — | 130,548 | 130,548 |
| 外部顧客への売上高 | 6,447,868 | 4,745,607 | 11,193,475 | 157,473 | 11,350,949 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 28,320 | — | 28,320 | — | 28,320 |
| 計 | 6,476,189 | 4,745,607 | 11,221,796 | 157,473 | 11,379,270 |
| セグメント利益 | 647,307 | 255,726 | 903,034 | 78,225 | 981,260 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 903,034 |
| 「その他」の区分の利益 | 78,225 |
| セグメント間取引消去 | △816 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 980,443 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
報告セグメントに配分されていない減損損失は1,879千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------------|-------------|------------|------------|------------|
| | 塗料事業 | D I Y用品 事業 | ペット用品 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,071,635 | 4,542,455 | 2,511,744 | 13,125,835 | 38,647 | 13,164,483 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 132,941 | 132,941 |
| 外部顧客への売上高 | 6,071,635 | 4,542,455 | 2,511,744 | 13,125,835 | 171,589 | 13,297,424 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 16,372 | — | — | 16,372 | — | 16,372 |
| 計 | 6,088,008 | 4,542,455 | 2,511,744 | 13,142,208 | 171,589 | 13,313,797 |
| セグメント利益又は損失 | 421,884 | 275,042 | △31,273 | 665,652 | 91,722 | 757,374 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 665,652 |
| 「その他」の区分の利益 | 91,722 |
| セグメント間取引消去 | △548 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 756,826 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
報告セグメントに配分されていない減損損失は3,500千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社ザ・ペットの株式を全数取得し連結子会社としたことにより、新規事業として報告セグメントに「ペット用品事業」を追加しております。

また（追加情報）（表示方法の変更）に記載のとおり、従来、「営業外収益」に表示しておりました「受取地代家賃」及び「太陽光売電収入」による収益を「売上高」に集約して表示し、「営業外費用」に表示しておりました「賃貸資産維持管理費」、「減価償却費」及び「売電維持管理費」は、「売上原価」に組替えて表示しております。これにより、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替え後の数値を記載しております。なお、当該変更により、組替え前と比較して「その他」セグメントの売上高の「顧客との契約から生じる収益」が15,961千円及び「その他の収益」が52,475千円それぞれ増加しており、セグメント利益が51,712千円増加しております。